

岩城光英の永田町だより vol.308

8月に入りました。梅雨が明け、東京は連日の猛暑です。夏の概算要求を前に、要望活動で上京される地元の皆様も、この暑さ・湿気にはお困りのご様子です。健康管理には呉々もご留意願います。

お盆のある今月は、各地で七夕や花火大会・夏祭りで開催されます。さらに、15日の終戦記念日に合わせて、慰霊祭などの行事が執り行われます。不戦の誓い、英霊や祖先の鎮魂を願うこの月を、厳かに迎えたいものです。

さて、今号では港湾整備による復興加速について、小名浜・相馬港に関わる事業について、お知らせいたします。

「東日本大震災からの復興加速のための港湾整備」

物流は、全ての経済活動の動脈とも言えるものです。陸上では、トラック輸送等がその役割を担っておりますが、海外からの資源輸入には、港の整備が欠かせません。

○小名浜港東港地区（国際ターミナル整備事業）大型船舶による石炭の大量一括輸送を可能とし、小名浜港を拠点とした東日本地域への安定的かつ安価な石炭輸送を実現することを目的に、国際物流ターミナルの整備を行う。平成26年度は、岸壁（水深18m）、航路・泊地（水深18m）、臨港道路、荷役機械等

○相馬港（航路・泊地整備事業）大型船舶によるLNGの大量一括輸送と、東北地方へのLNGの安定的かつ安価な輸入の実現を目的とする。水深14mの航路・泊地を整備。



小名浜港における貨物船の荷役状況(石炭)
平成25年11月



仙台臨港地仙台地区におけるLNG船の荷役状況
平成25年11月

【経済復興の礎となる港湾施設】

復興の加速化の拠点となる港湾の整備



【相馬港:福島県】

相馬港(福島県) 航路・泊地整備事業 <新規>

東北地方へのLNGの安定的かつ安価な輸入の実現に向けて拠点となる相馬港において、大型LNG船の安全かつ効率的な輸送を確保するため、航路・泊地の整備を行う。



●事業の効果

- ・ LNGの安定的かつ安価な輸送確保、エネルギーの安定供給による地域産業の競争力の強化
- ・ 被災地の復興、東北地方の経済活動の活性化

○相馬港3号埠頭地区（国際物流ターミナル事業）背後地企業の物流の効率化、及び大規模地震等の緊急物資輸送等の物流拠点として寄与するため、平成26年度に、防波堤（沖）、岸壁（水深10m）等を整備する。

「拒否しているのは韓国だ」

北野湘南

安倍首相の“親書”を託されたとされる梶添要一東京都知事と韓国の朴大統領の会談は、残念ながら日韓首脳の間談実現に大きな進展も無く終わった。朴大統領が、頑なともいえる態度で安倍首相の歴史認識を批判していることが最大の理由であり、アジアの平和と安定のために必要不可欠な日・米・韓の同盟強化を拒否しているのは韓国だ。

安倍首相が託したとされる親書は「日本と韓国は同じ価値観を有する大切な隣国であり、早急に友好実現のための首脳会談を開きたい」との趣旨だったとされる。安倍首相は、就任早々から韓国に対して「窓口は何時でも開いている」と日韓首脳会談に向けて強いメッセージを発していたが、親書という形で会談を促したと言えよう。だが、朴大統領は、日韓関係の悪化は日本の一部政治家の言動が、最大の要因であり「正しい歴史認識を持つことが、最重要だ」とし、いわゆる従軍慰安婦の問題に固執する姿勢を崩さなかった。従軍慰安婦の問題では、調査内容そのものに大きな疑念が生じているものの、日本は、これに拘らないとの「大人の態度」を貫いている。

一方の韓国は、中国の習近平国家主席との会談で日本の歴史認識を糺すとの共同声明を出したり、訪問先の各国でも「日本による従軍慰安婦問題は世界的な人権問題である」などと告げ口外交を繰り返している。中でも大きな問題は中国と一段と親密な関係を取りながら日本批判をエスレートさせていることだ。日、米、韓に共通していることは、政治は国民から民主的なルールによって選ばれた政治家によって行われる民主主義という普遍的な価値を共有してい

ることだ。日韓の関係悪化を憂慮したケリー米国務長官は、朴大統領にこうしたことを理由に友好を促したとされるが、朴大統領は全く聞く耳を持たないようだ。

朝鮮半島で「朝鮮動乱」が勃発したのは、第二次大戦が終わって間もない昭和 25 年だ。北朝鮮が、韓国に攻め入ったのが原因であることは世界の歴史の常識となっている。その北朝鮮を後押ししたのは、当時のソ連と中国であったことも歴史的な事実である。韓国軍は、壊滅寸前まで追い詰められたがこれを救ったのは米国を中心とした国連軍であった。現在でも韓国に多くの米軍基地や兵力を置いてあるのは、このためだ。北朝鮮は、原爆、ミサイルの開発と兵力の強化を進める独裁国家だ。そして、現在でも北朝鮮を強く支持しているのは中国である。

その中国は「日本は歴史を正しく認識していない」と日本批判を一段と強めている。毛沢東の率いる中国が、共産主義国家として発足して間もなく土地の国家所有を進めたが、その過程で多くの地主やその家族が虐殺された。1950年代には農業政策の失敗により少なくとも 3000 万人の国民が餓死した。餓死した国民は、5000 万人近いとの説もあるほどの失政による凄惨な事件だった。1970年代に吹き荒れた紅衛兵事件は、共産党内部の主導権争いが原因であるが、この中で批判された知識人、指導者層の自死や事実上の虐殺は 20 万人を軽く超えるとされる。言論の自由などを求めて天安門広場に集まった学生や市民を戦車と銃で殺戮した天安門事件から今年で 25 年であるが、反省するどころか知識人を拘束して再発防止に必死だった。歴史を正しく認識する必要があるのは中国だ。韓国が、友好を結ぶべき国はどこなのか。これだけでも明快だろう。